

第33回

Yamaguchi Physical Therapy Association

# 山口県理学療法学会 プログラム集

テーマ

先端技術を活用した理学療法士の  
スキルアップと今後の可能性

日時／令和6年11月24日 日 会場／KDDI維新ホール

主催／  一般社団法人 山口県理学療法士会

後援／ 山口県、山口市、一般社団法人 山口県医師会、一般社団法人 山口市医師会、一般社団法人 吉南医師会、  
公益社団法人 山口県看護協会、一般社団法人 山口県作業療法士会、一般社団法人 山口県言語聴覚士会、  
一般社団法人 山口県介護支援専門員協会



令和 6 年 10 月吉日

病院長 殿  
施設長

一般社団法人山口県理学療法士会  
会 長 宮野 清孝  
第 33 回山口県理学療法学会  
大会 長 伊藤 勇



### 第 33 回山口県理学療法学会出張参加のお願いについて

謹啓 時下の候、貴台におかれましては益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。  
平素より山口県理学療法士会の活動に格別のご配慮をいただき、厚くお礼申し上げます。

さて、このたび下記により第 33 回山口県理学療法学会を開催する運びとなりました。テーマは、『先端技術を活用した理学療法士のスキルアップと今後の可能性』と題しまして、広い視野を持ちながら世の中の変化に適応できるよう、専門職としての職能性を身につけ、理学療法士としての質を高めていくことを目的に学会を開催いたします。

つきましては、貴施設職員で本会会員の\_\_\_\_\_氏の参加において、格段のご配慮を賜れますよう謹んでお願い申し上げます。

謹白

#### 記

日 程 : 令和 6 年 11 月 24 日 (日)

会 場 : KDDI 維新ホール

〒754-0041 山口県山口市小郡令和 1 丁目 1 番 1 号

TEL 083-902-6727 FAX 083-902-6728

参加費 : 県内会員 ¥2,000 県外会員 ¥3,000 他職種 ¥3,000

非会員 ¥10,000 学生無料

学会事務局 : 医療法人社団成蹊会 岡田病院 リハビリテーション室

〒 759-4101 山口県長門市東深川 888

TEL 0837-23-0033 FAX 0837-23-0035

理学療法士 奈古 智子 (学会準備委員長)

# ご 挨拶

第33回 山口県理学療法学会  
大会長 伊藤 勇

このたび、萩長門地区が担当する本学会大会を、新山口駅北口から直結するKDDI維新ホールをお借りして開催させていただくことになりました。学会準備に関して多くの方々にご支援ご協力を賜りましたことに心から感謝申し上げます。

近年、機械学習、ニューラルネットワーク、自己学習などの技術の進歩により、人工知能（AI）の応用範囲が広がり、現代社会に深い影響を与えるようになりました。医療の世界でもAIが応用されはじめています。リハビリテーション分野でも、AIやロボット技術の導入が注目を集めており、これからの発展が期待されるテーマのひとつと言えます。

リハビリテーションにおける先端技術の活用はますます広がりを見せており、AIの導入により、従来のデータ収集や分析が飛躍的に進化し、精度や信頼性が向上することで、対象者の状態把握に大いに貢献する可能性を秘めています。また、国民の健康維持や疾患治療に貢献し、生活の質を向上させることにも期待が寄せられています。

そこで、本学会大会では「先端技術を活用した理学療法士のスキルアップと今後の可能性」をテーマに掲げ、進化しているAIやロボット技術の現状と、導入されることでリハビリテーションがどのように変わっていくかについての知見を広げ、良質な理学療法の提供に研鑽することを目的として開催いたします。特別講演Ⅰでは北陸大学医療保健学部の大畑光司先生をお招きして、歩行再建のための戦略と次世代テクノロジーを利用したトレーニングについてご講演いただきます。特別講演Ⅱ（市民公開講座）では順天堂大学保健医療学部理学療法学科の松田雅弘先生をお招きして、臨床場面におけるAIの活用と理学療法士の今後についてご講演をいただきます。AIやロボット技術の進歩は非常に目覚ましく、リハビリテーション分野でもその潜在能力が大いに期待されています。しかし、これらの技術を最大限に活用するためには、私たちは学術的な研究や実践的な経験を共有し、さらなる進歩を追求する必要があります。本学会大会は、そのような情報交換の場として非常に重要であり、私たちの研究や治療の向上に大いに貢献することでしょう。

一般演題でも幅広い領域からの応募をいただきました。一般演題（口述、ポスター）を通じて、参加者の皆様との知見の交流と活発な意見交換の場となることを期待しております。

最後になりますが、第33回学会大会が皆様にとって実りある一日となることを祈念して、ご挨拶とさせていただきます。

## ご参加の皆様へ

本学術大会は、対面とオンライン配信のハイブリッド形式にて開催いたします。

### 【事前参加登録について】

- ・日本理学療法士協会会員の方は事前参加登録が可能です。非会員の方は当日参加のみとなります。
- ・事前参加登録は以下の通りです。

日本理学療法士協会マイページ

「生涯学習管理」⇒「セミナー検索・申し込み」の順にクリックし、「セミナー番号」欄に、対面申込の方は「125090」、オンライン申込の方は「125260」と入力し検索してください。

日本理学療法士協会メンバーアプリ(JPTA アプリ)

JPTA アプリ⇒「セミナー」の順にクリックし、「履修目的」のいずれかをチェックし⇒「セミナー番号」欄に、対面申込の方は「125090」、オンライン申込の方は「125260」と入力し検索してください。

JPTA アプリは下記URL よりダウンロード可能です。

<https://www.japanpt.or.jp/pt/announcement/newssystem/>

- ・演題登録者、座長、司会者も事前参加登録が必要です。

### 【当日参加登録について】

当日参加登録される方は受付で必要事項をご記入ください。参加費の支払いは現金払いとなります。また、領収書はその場で発行いたします。

### 【参加費について】

会 員( 山口県理学療法士会会員 ) 2,000 円  
他県会員( 山口県以外の都道府県理学療法士会会員 ) 3,000 円  
会 員 外( 他職種、非医療職者 ) 3,000 円  
学 生( 理学療法士免許を有していない学生 ) 無料  
日本理学療法士協会非会員 10,000 円

### 【オンライン配信での受講方法について】

事前申し込み者には大会からWeb 会議サービス「Zoom」のログイン用URL を事前にメールいたします。大会の開始時間になりましたら、ログイン用URL をクリックして参加してください。オンライン参加のための通信環境は受講者の責任において準備をお願いいたします。

### 【生涯学習ポイントについて- 日本理学療法士協会会員向け-】

- ・本学術大会発表により、専門・認定理学療法士更新に関わる履修点数20 点が取得可能です。
- ・本学術大会参加により、登録理学療法士更新に関わるポイント（カリキュラムコード146：支援工学5.5ポイント）、認定・専門理学療法士更新に関わる点数（5.5 点）、専門理学療法士資格取得に関わる要件（3コマ）が取得可能です。

- ・当日会場にて受講登録をする場合は、受付にてJPTA アプリによるQRコード読取機能を使用して受講登録を行います。事前にJPTA アプリを準備しておいてください。
- ・オンライン配信の受講で受講登録する場合も、オンライン配信中にQRコードを提示します。
- ・QRコード読取機能を使用して受講登録を行なってください。

・また学会参加に加え、各特別講演に参加されることで下記の各ポイントが付与されます。

タイトル	登録理学療法士 更新		認定・専門理学療法士 更新	
	カリキュラムコード	ポイント	項目	点数
特別講演Ⅰ	144:ロボットと理学療法	1.5	講習会・研修会の受講	1.5
特別講演Ⅱ	143:ICT・ATと理学療法	1.5	講習会・研修会の受講	1.5

当日特別講演内でQRコードを提示しますので、JPTAアプリを起動⇒QR をタップ⇒QR コードリーダーが起動⇒QR コードの読み込みの順で読み込みをお願いいたします。

※スマートフォンに標準搭載されているQR コードリーダーでは、読み込みをすることはできません。予めJPTA アプリのダウンロードをお願いいたします。

#### 【プログラム集と抄録集について】

- ・プログラム・抄録集はPDFでの配布となります。事前に山口県理学療法士会HP 及び FAX にてご案内いたしますので、各自でダウンロードをお願いいたします。

#### 【お子様同伴でのご参加について】

- ・本学術大会では、お子様同伴でご参加いただけます（\*監督責任は保護者の方をお願いいたします）。
- ・託児所をご利用の方は事前申込（2024年10月10日締め切り）が必要となります。事前申込されていない方はご利用できませんのでご注意ください。
- ・配偶者やご両親・ベビーシッターなど、お子様のお世話をするための同伴者の参加費は無料とします。
- ・各会場の出入り口に近い場所に、お子様同伴の方の優先座席を設置いたします。
- ・1 階ホール運営事務室横に授乳室があります。
- ・感染拡大防止のため、発熱や咳・鼻水などの感冒症状のあるお子様や同伴者、学級閉鎖を含む接触者に該当される方のご参加はお控えください。

#### 【企業ブースについて】

- ・今回の学術大会では、企業ブース（6社）展示があります。
- ・出展いただく企業は日程表（P11）に記載しておりますのでご覧ください。
- ・企業ブースの展示は9:20～16:30までとなります。こちらでも積極的な交流・意見交換など期待しております。
- ・各企業ブースの展示内容に関しては、当日ご来場いただき直接ご確認ください。

**【その他注意事項】**

- ・ 駐車場はKDDI維新ホール周辺の駐車場をご利用ください。駐車料金に関しては自己負担となります（詳細はP9参照）。
- ・ メインホール、メインスタジオ、会議室、ホワイエ、自由通路での飲食は可能です。ゴミ等は各自でお持ち帰りください。
- ・ 会場内はすべて禁煙です。
- ・ 会場内では必ず携帯電話の電源をお切りいただくか、マナーモードに設定してください。
- ・ ノーネクタイなど学術大会に合ったカジュアルな装いでのご参加も歓迎いたします。

# 口述・ポスター発表要領

## 1. 口述発表者要領（一般口述Ⅰ・Ⅱ・セレクション口述）

### 1 - 1. 受付について

受付場所：1 階ホワイエ「演者・座長受付」

受付時間：9:00 ～ 9:40

注意事項：受付時に、生涯学習制度のポイント認定の手続きを行ってください。

### 1 - 2. 発表について

発表場所・時間帯：

演題 1 ～ 5 第1会場 メインホール 9:50 ～ 10:50

演題 6 ～ 10 第2会場 会議室 204A・B 9:50 ～ 10:50

演題11 ～ 15 第1会場 メインホール 13:30 ～ 14:30

発表時間：発表時間7 分以内、質疑応答3 分以内

#### 注意事項：

- ・倫理に関する配慮がない場合は、発表が出来ません。
- ・発表用スライドには倫理に関する記載を必ず明記してください。
- ・タイムキーパーが発表終了1 分前に呼び鈴1 回、終了時間で呼び鈴2 回鳴らします。
- ・発表時間を厳守してください。
- ・発表内容が抄録と相違しないようご注意ください。
- ・演者の方は、発表開始の5分前までに会場前方の「次演者席」へお掛けください。
- ・発表者の来場が困難な場合は、共同演者に代理発表をお願いいたします。
- ・なお、代理発表も困難である場合は、事務局までご連絡ください。

### 1 - 3. スライドデータについて

データ形式：Microsoft PowerPoint プレゼンテーション形式（拡張子「.pptx」形式）

ファイル名：「演題番号（半角）－ 演者名」

例）演題番号1 の演者が山口太郎の場合

⇒ 1- 山口太郎

枚数制限：枚数制限はありませんが、発表時間に収まるようご注意ください。

#### 注意事項：

- ・最初に、倫理的配慮および利益相反（COI）に関するスライドを加えてください。
- ・スライドのサイズは、ワイド画面（16：9）で作成してください。
- ・発表内容が抄録と相違ないようご注意ください。
- ・スライドのデザインや背景が複雑な場合、映写時に問題が生じる場合がありますのでご注意ください。
- ・アニメーションは最小限にするようご注意ください。
- ・動画の使用はご控えください。
- ・Mac で作成した場合は、必ずWindows PC での動作を確認した上でお持ちください。
- ・発表PowerPoint ファイルは2024 年11 月15日（金）12:00 までに以下の送付先へご送付ください。期日以降の受付や修正は認められませんのでご了承ください。

スライド送付先：[hagi-ito12@canvas.ocn.ne.jp](mailto:hagi-ito12@canvas.ocn.ne.jp)



- ・当日使用するPC (Windows) は、主催者側で準備いたします。
- ・持ち込みPC の使用は出来ませんので、予めご了承ください。
- ・データは、発表終了後に学会事務局が責任を持って消去いたします。

## **2. ポスター発表演者要領**

### **2 - 1. 受付について**

受付場所：1 階ホワイエ「演者・座長受付」

受付時間：9:00 ～ 9:40

注意事項：

- ・受付時に、生涯学習制度のポイント認定の手続きを行ってください。

### **2 - 2. 発表について**

発表場所：第3会場（メインスタジオ）

発表時間： 9:50～10:20と10:20～10:50

13:30～14:00と14:00～14:30のコアタイム制（30分）

発表形式：質疑時間内で3～4分の発表とフリーディスカッション

質疑時間：演題番号16 ～ 18 9:50 ～ 10:20

演題番号19 ～ 21 10:20 ～ 10:50

演題番号22 ～ 24 13:30 ～ 14:00

演題番号25 ～ 27 14:00 ～ 14:30

注意事項：

- ・倫理に関する配慮がない場合は、発表が出来ません。
- ・ポスターには倫理に関する記載を必ず明記してください。
- ・指定場所にポスター掲示を行い、演者は指定された時間の5分前には各自のポスター前に待機してください。
- ・セッション開始のアナウンスはありません。時間になりましたら座長の指示に従い、発表を開始してください。
- ・演者は各自のポスターの前に30分間待機してください。
- ・座長に指名されたら3～4分でポスター内容の要約を簡単に発表してください。（演題番号順に進行）
- ・質疑時間内に質疑応答を行ってください。
- ・マイクは使用できません。参加者に聴こえる声の大きさを発表してください。
- ・指定された時間で貼付および撤去をお願いいたします。
- ・発表者の来場が困難な場合は、共同演者に代理発表をお願いいたします。  
なお、代理発表も困難である場合は、事務局までご連絡ください。



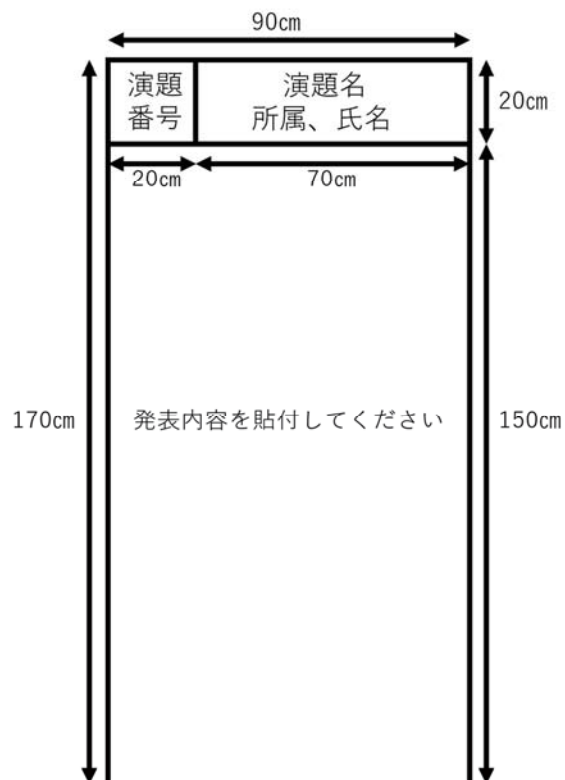
### 2-3. ポスター作成・貼付・撤去について

貼付時間： 9:00 ～ 9:40

撤去時間： 16:30 ～ 16:50

掲示規格：題名・所属・氏名スペース 縦20 cm×横70 cm（以内）

本文・図表スペース 縦150 cm×横90 cm（以内）



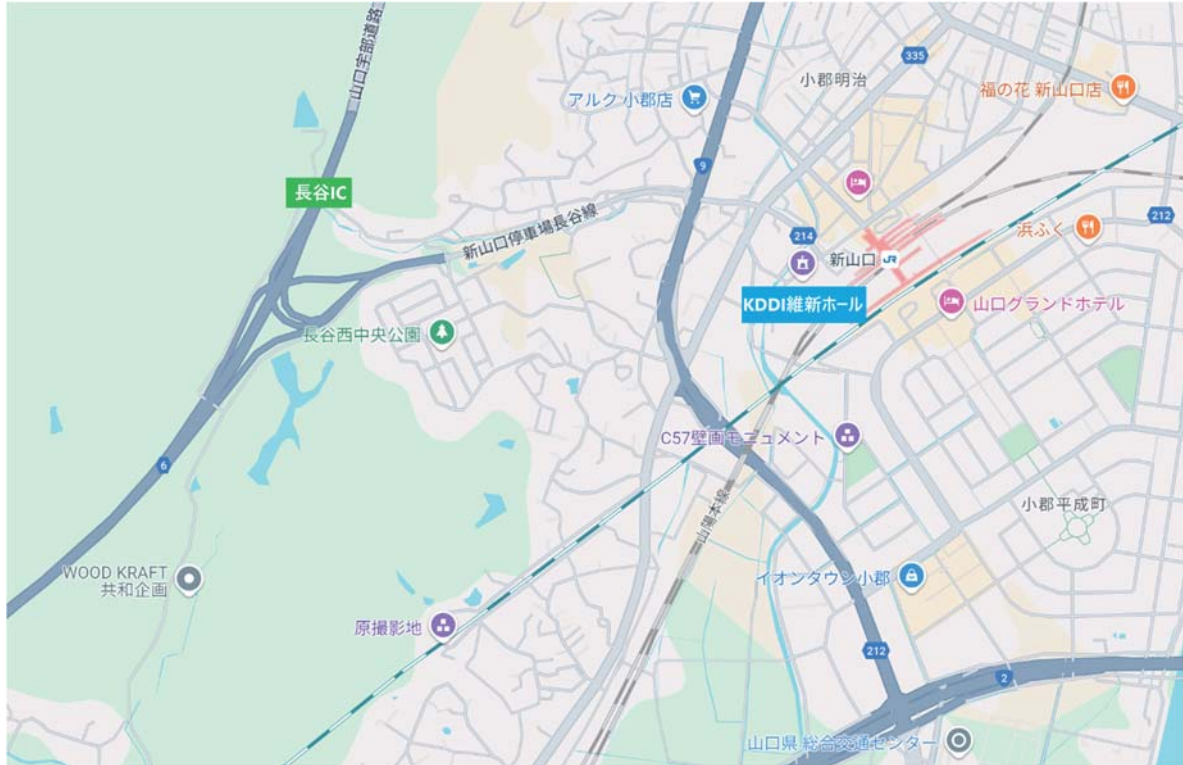
#### 注意事項：

- ・パネルの掲示規格に従って、発表内容をご用意ください。
- ・演題名・所属・演者名を書いた20cm × 70cm の用紙を各自でご準備ください。
- ・左上部の演題番号は、学会主催者側で用意します。
- ・少し離れたところからもはっきり見えるように工夫してください。
- ・ポスター貼付は画鋲のみ使用できます。画鋲は主催者側で準備します。
- ・両面テープや糊付けはできません。また、パネルに直接の書き込みもできません。
- ・発表内容が抄録と相違しないよう注意してください。
- ・ポスター内に倫理的配慮および利益相反（COI）について開示してください。
- ・指定された時間帯に演者がポスター貼付および撤去を行ってください。
- ・撤去時間を過ぎたポスターは、学会主催者側で撤去および処分させていただきます。

## 【会場へのアクセス】

自家用車：中国自動車道小郡JCT経由、山口宇部道路長谷ICから約5分

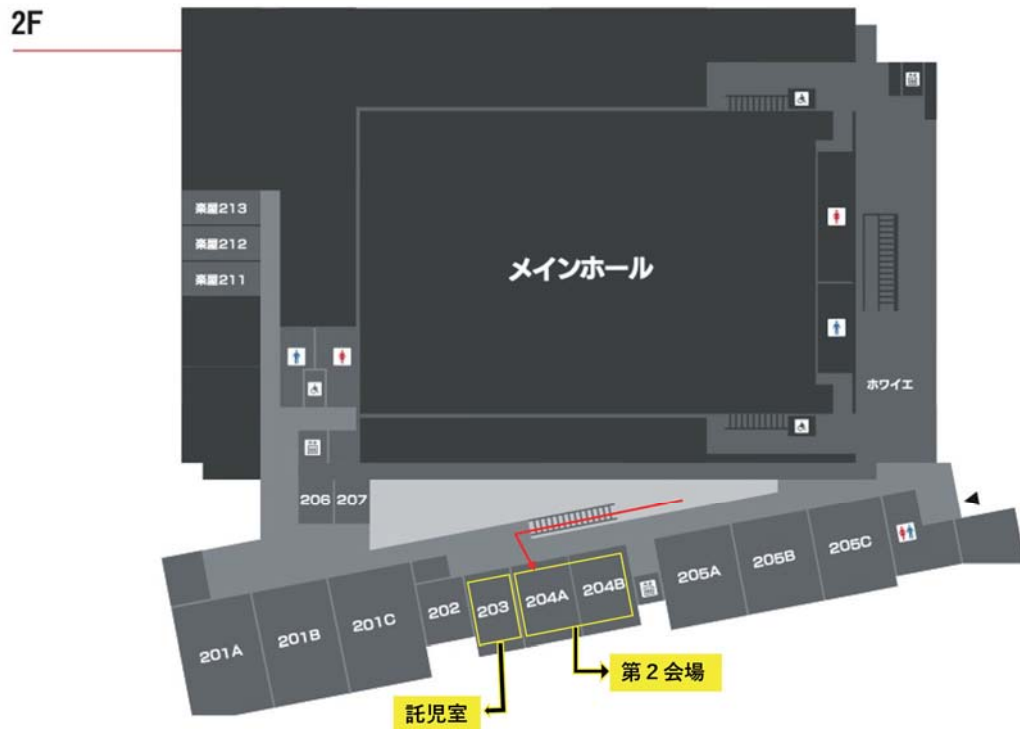
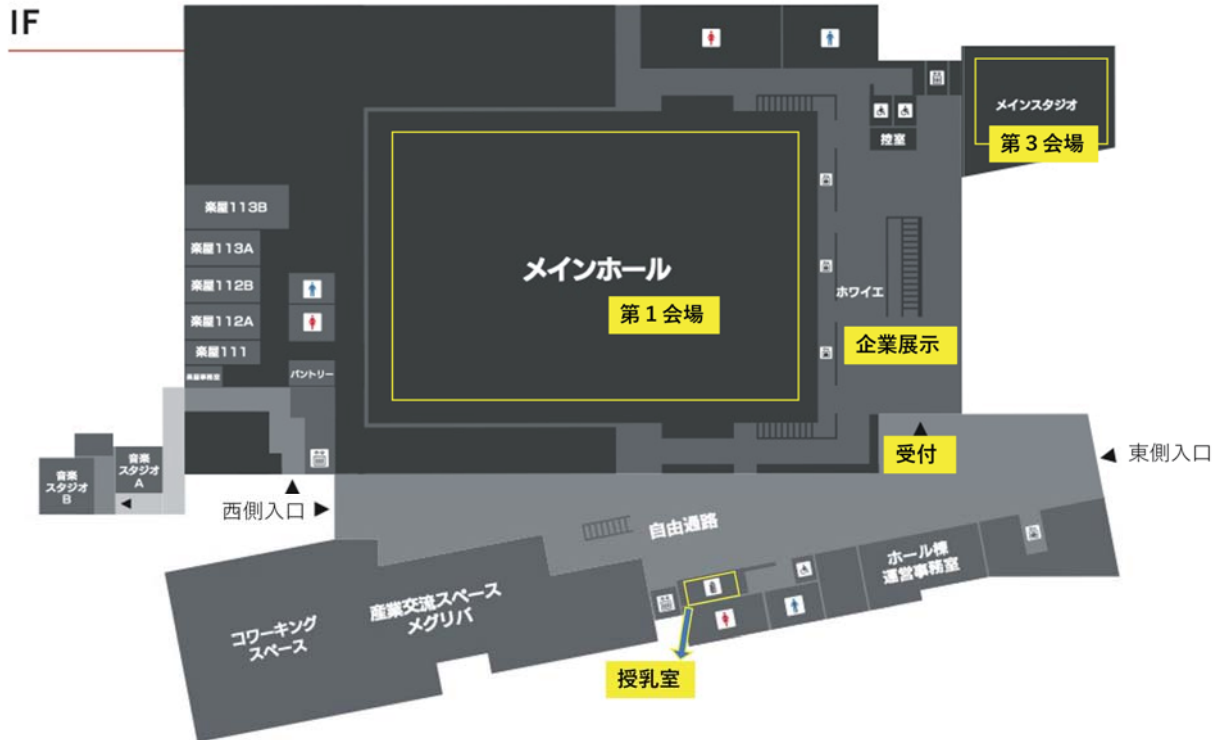
新幹線・鉄道：新山口駅下車、北口から直結



### **P** 駐車場のご案内



# 【会場マップ】



## 【 第33回 山口県理学療法学会 日程表 】

2024年11月24日（日）				
	第1会場 メインホール 特別講演・口述 対面+オンライン配信	第2会場 会議室（204A・B） 一般口述	第3会場 メインスタジオ ポスター 対面のみ	ホワイエ（1階） 企業ブース
9:00～ 施設開錠				
9時00	9:00～ 受付開始		9:00～9:40（40分） ポスター1・2 貼付	9:20～ 展示開始
10				
20				
30				
40	9:40～ 開会式			
50				
10時00	9:50～10:50（60分） 一般口述1 5題	9:50～10:50（60分） 一般口述2 5題	9:50～10:50（60分） ポスター1 6題	[企業名]
10				
20				
30				
40				
50	休憩			
11時00	11:00～12:30（90分） 特別講演 I 講師：大畑 光司 氏		自由閲覧 （ポスター1） （ポスター2）	株式会社岩多屋福祉事業部 （山口支店）
10				
20				
30				
40	次期大会長挨拶			株式会社日本メディックス （広島支店）
50				伊藤超短波株式会社 （福岡営業所）
12時00	昼休憩			株式会社SPLYZA
13時00				
10				
20				
30				
40				
50	13:30～14:30（60分） セレクション口述 5題		13:30～14:30（60分） ポスター2 6題	株式会社 ホームケアサービス山口
14時00				
10				
20				
30	休憩			
40				
50	14:40～16:10（90分） 特別講演 II 市民公開講座 講師：松田 雅弘 氏		自由閲覧 （ポスター1） （ポスター2）	コニカミノルタジャパン株式 会社ヘルスケアカンパニー （中四国支社 山口営業所）
15時00				
10				
20				
30				
40				
50				（敬称略・順不同）
16時00	表彰式・閉会式（20分）			
10				
20				
30				
40			16:30～16:50（20分） ポスター撤去	16:30 展示終了
50				





# プログラム

## プログラム一覧

特別講演 I 11:00～12:30

「歩行再建のための戦略と  
次世代テクノロジーを利用したトレーニング」

大畑 光司 氏

( 北陸大学 医療保健学部 理学療法学科 教授 )

( 健康未来社会実装センター センター長 )

司会：杉山 英樹 ( 一般社団法人山口県理学療法士会 理事/都志見病院 )

一般口述演題 1 9:50～10:50 メインホール

座長：溝口 桂 (周東総合病院)

1. 「仕事を通じての成長実感」と経験学習との関連性の検証—経験学習尺度を用いた調査—  
よしみず病院 リハビリテーション部 宇野 健太郎
2. 「認知症にやさしいまちづくり」のための認知症カフェの現状と課題、そして今後の展望  
～みずほッとカフェにおける1年間の取り組み～  
医療法人社団二三会 みずほ内科クリニック 木下 貴文
3. パーキンソン病患者に対するLSVT BIGを用いたリハビリテーションはどのくらいの期間  
有効か？  
下関リハビリテーション病院 リハビリテーション科 遠山 明之介
4. 学齢期脳性麻痺児のGMFM変化と下肢筋緊張・関節可動域の関係  
山口県済生会 下関総合病院 リハビリテーション科 上條 貴弘
5. 運動指導と歩数計アプリの使用が行動変容に有用であった2型糖尿病患者の一例  
JA山口厚生連 小郡第一総合病院 リハビリテーション科 中寄 大貴

特別講演Ⅱ・市民公開講座 14:40～16:10

「臨床場面における AI の活用と理学療法士の今後」

松田 雅弘 氏

( 順天堂大学 保健医療学部 理学療法学科 教授 )

司会：伊藤 勇 ( 第 33 回山口県理学療法学会 大会長/長門総合病院 )

一般口述演題 2 9:50～10:50 会議室 (204A・B)

座長：楫野 允也 (山口コ・メディカル学院)

6. 超音波画像診断装置を用いたQLSの徒手療法と肩甲挙筋のバイオフィードバックの統合的アプローチ～肩関節前方脱臼後に腕神経叢障害、腱板断裂を合併した症例～  
JA山口厚生連 長門総合病院 リハビリテーション科 正木 雄太
7. 大腿骨寛骨臼インピンジメント症候群(FAIS)に伴う胡座動作時の股関節痛に対する介入  
筒井整形外科クリニック リハビリテーション科 松本 淳也
8. 術前身体活動量別の人工股関節全置換術後身体機能と身体活動量の推移  
山口大学医学部附属病院 リハビリテーション部 桜田 美里
9. 膠芽腫により下肢Motricity Index18点の重度麻痺を呈した患者が早期歩行自立に至った  
1 症例～神経筋電気刺激と筋力増強運動を用いて～  
山口県立総合医療センター リハビリテーション部 足立 佳那恵
10. 当院におけるサイレントマニピレーションの術後成績と適応条件の検討  
虹ヶ浜整形外科クリニック リハビリテーション科 狩又 祐太



セレクション口述 13:30～14:30 メインホール

座長：山本 悟 (YICリハビリテーション大学校)

11. 開胸心臓手術患者における入院関連能力低下 (HAD) と予後の関連  
下関市立市民病院 リハビリテーション部 月城 一志
12. 股関節角度の違いがQuadriceps Setting exercise時の内側広筋厚に及ぼす影響  
医療法人社団成蹊会 岡田病院 リハビリテーション室 濱田 賢吾
13. 周術期消化器がん患者の在院日数に影響する因子の検討  
下関市立市民病院 リハビリテーション部 阿部 小夏
14. 人工股関節全置換術後早期における歩行時の自覚的脚長差に関連する因子  
JA山口厚生連 周東総合病院 リハビリテーションセンター 川端 悠士
15. 高齢心不全患者におけるサルコペニアの重症度で分類した臨床的特徴  
山口県立総合医療センター リハビリテーション部 三浦 正和

ポスター演題 1 9:50～10:50 メインスタジオ

座長：松浦 和文 (山口リハビリテーション病院)

16. 足底感覚への治療介入により立位姿勢の改善がみられたTKA術後の一例  
医療法人社団成蹊会 岡田病院 リハビリテーション室 金子 優人
17. 人工膝関節全置換術に対する関節可動域運動開始時期の違いが膝屈曲可動域に与える影響  
JA山口厚生連 小郡第一総合病院 リハビリテーション科 石津 直希
18. Primewalkを使用した歩行練習を早期から実施した脊髄梗塞の一例  
下関リハビリテーション病院 リハビリテーション科 元田 雅人
19. 固有感覚に着目した治療により歩行の安定性が向上した両視床出血の一例  
下関リハビリテーション病院 リハビリテーション科 松尾 一輝
20. 肩関節脱臼による腋窩神経不全麻痺,広範囲腱板断裂に対し保存療法が有効であった1症例  
～医師と理学療法士の共闘～  
JA山口厚生連 長門総合病院 リハビリテーション科 村上 慶奨
21. 被殻出血により重度片麻痺,感覚障害が生じた症例  
～長下肢装具から早期離脱を行い,運動麻痺の改善を得られた1例～  
山口県立総合医療センター リハビリテーション部 土井 勇人

ポスター演題2 13:30~14:30 メインスタジオ

座長：道祖 悟史（合同会社アズユー）

22. 在宅のリハビリにて他職種からの情報を得ることで 目標設定の視点が変わった一例  
安岡病院 リハビリテーション科 永井 智己
23. 間質性肺炎および肺高血圧症を合併した顕微鏡的多発血管炎患者に理学療法を実施し自宅退院に至った1症例  
下関市立市民病院 リハビリテーション部 水野 博彰
24. 高頻度で自動介助運動を行い、機能改善がみられた脳性麻痺の一症例  
SUNSUN株式会社 OZデイ33しものせき 吉村 仁志
25. 高校球児の胸郭出口症候群に対する第一肋骨切除術の理学療法の経験  
虹ヶ浜整形外科クリニック リハビリテーション部 小川 寛晃
26. 人工膝関節全置換術後患者に対する術前情報また入院中の活動量が退院1か月後の膝関節屈曲可動域120° 獲得に左右する因子  
医療法人社団成蹊会 岡田病院 リハビリテーション室 末弘 勇司
27. 急性増悪を繰り返す慢性心不全患者に対し、退院後に療養指導を継続し再入院の予防を図った一症例  
下関市立市民病院 リハビリテーション部 平沼 侑花

## 特別講演 I

11:00～12:30 (メインホール)

### 歩行再建のための戦略と 次世代テクノロジーを利用したトレーニング

講師：大畑 光司 氏

(北陸大学 医療保健学部 理学療法学科 教授)  
(健康未来社会実装センター センター長)

司会：杉山 英樹 氏

(一般社団法人山口県理学療法士会 理事/都志見病院)

## 歩行再建のための戦略と 次世代テクノロジーを利用したトレーニング

北陸大学 医療保健学部 理学療法学科 教授  
健康未来社会実装センター センター長

大畑 光司



歩行障害を有する方に対する歩行再建は、理学療法における重要な目標の一つである。特に人口減少社会を迎え、高齢者に対する効果的で効率的な支援を行うことが求められる我が国においては非常に重要な課題となっている。歩行速度の低下は高齢者の生存率（Stanaway FF, BMJ, 2011）、認知症（Montero-Odasso M, Age Ageing. 2020）やうつ病のリスク（Biderman A, J Epidemiol Community Health. 2002）との関係が指摘されており、脳卒中後片麻痺者においても、社会活動の基盤となる屋外歩行能力（Perry J, Stroke. 1995）や身体関連QOL（Khanittanuphong P, NeuroRehabilitation. 2017）と関連することが知られている。

一方で高齢者を対象とした研究において、効果的なトレーニングが歩行機能を改善させ、同時に健康状態や活力を改善させること（Jiménez-García JD, et.al., Int J Sports Med. 2019）、同様に脳卒中後片麻痺者においても歩行速度の向上が運動機能だけでなくQOLを改善させること（Schmid A, Stroke. 2007）も知られている。

しかし、高齢者や歩行障害者に対してトレーニングを実施する場合、実際にはいくつかの障壁が存在する。歩行機能を改善する上での重要な条件の一つに規則的な練習時間の確保が挙げられる（Izquierdo M, J Nutr Health Aging. 2021）。しかし、高齢者の比率が増えながら人口減少が急速に進むと予想される我が国においては、十分なトレーニングを提供するためのマンパワーの不足が懸念される。特に歩行を専門に評価し、プログラムを立案する専門家の存在が欠かせないが、すべての関連施設において十分な人材を確保してサービスを展開できるとは考えにくい。また一方で、歩行改善のプログラムを展開できたとしても、それに参加する対象者側の問題として、時間的な問題や移動にかかるコストなどにより参加を断念する場合も多いことも予想される。

こうした様々な問題に対して我々は、遠隔地へのオンラインでの介入やロボットを利用した間接的介入など、今後発展していくことが予想される技術を提供し、その取り組みの中で生じる課題を浮き彫りにし、その対策を立てることを目的として活動している。本講演では、現在直面している課題などを紹介し、聴衆とともにその解決についての方向性を議論したい。



## 略歴・資格・委員等

- 学歴) 平成 6 年 京都大学医療技術短期大学部理学療法学科卒業  
平成 11 年 学位授与機構にて学士(保健衛生学)授与  
平成 14 年 大阪教育大学大学院教育学研究科健康科学専攻修士課程 修了  
平成 22 年 京都大学論文博士(医学) [指導教員 京都大学整形外科  
中村孝志]
- 職歴) 平成 6 年 大阪府立大手前整肢学園勤務  
平成 9 年 大阪府立看護大学医療技術短期大学部(現 大阪府立大学)  
助手  
平成 11 年 京都大学医療技術短期大学部助手  
平成 19 年 京都大学大学院医学研究科人間健康科学系専攻リハビリテーシ  
ョン科学コース助教  
平成 20 年 京都大学大学院医学研究科人間健康科学系専攻リハビリテーシ  
ョン科学コース講師  
令和 5 年 北陸大学健康未来社会実装センター長・医療保健学部理学療法  
学科教授(現在に至る)

## 資格) 理学療法士

- 学会活動) 一般社団法人日本神経理学療法学会理事長  
一般社団法人日本理学療法学会連合副理事長  
公益社団法人日本理学療法士協会標準評価作成部会部会長  
日本リハビリテーション医学会正会員  
日本小児リハビリテーション学会評議員  
日本義肢装具学会正会員  
日本臨床神経生理学会会員  
ニューロリハビリテーション学会評議員  
リハビリテーション先端機器研究会理事  
Editorial Board of Journal of Neurologic Physical Therapy

## 特別講演Ⅱ・市民公開講座

14:40～16:10（メインホール）

臨床場面における AI の活用と理学療法士の今後

講師：松田 雅弘 氏

（順天堂大学 保健医療学部 理学療法学科 教授）

司会：伊藤 勇 氏

（第33回山口県理学療法学会 大会長/長門総合病院）

## 臨床場面における AI の活用と理学療法士の今後

順天堂大学 保健医療学部 理学療法学科 教授

松田 雅弘



リハビリテーションを提供している私たち理学療法士は、日々患者様の機能回復や地域の方の健康増進に対して、個人に合わせた運動支援を行っています。医学の発展で得られた知見をもとに、最適で安全な医療サービスを提供することで、Well-being（幸せ）な生活を支援することを宿命と思って活動しています。近年、私たちの日常生活の場面でもスマートフォンの使用が当たり前になり、その情報の多くに人工知能（AI）が使われ、生活の便利さに寄与しています。これは私たちの生活だけでなく、医療現場へ応用されることで、どの地域に住んでいても最適な医療サービスを受けることが可能となります。現在は Society4.0 の「情報社会」ですが、今後は Society5.0 の未来社会像として「持続可能性と強靱性を備え、国民の安全と安心を確保するとともに、一人ひとりが多様な幸せ（well-being）を実現できる社会」を国際的に目指しています。つまり、AI などの活用によって「一人ひとり」が幸せになれるように理学療法士も医療を発展させていかななくてはなりません。

現在、医療現場で AI を身近に感じることは、まだ少ないと思います。それでも、AI を搭載した仮想現実（VR）のトレーニング、認知症予防のためのコミュニケーションロボットなどの活用が始まっています。また、Chat GPT は情報収集や問題解決を支援してくれます。AI には膨大なデータをまとめる能力があるため、今後 AI に治療プログラムの立案などの補助を行ってもらうことで、業務の効率化につながる可能性があります。AI がすべてを解決してくれるのではなく、AI を上手に活用することで、人の手でしか出来ないことに集中することができ、AI と理学療法士が共存していく未来を実現させることができるでしょう。AI の情報だけを信頼するのではなく、情報の信頼性に注意して解釈することは重要です。働き手が不足する未来の社会が予測されるなか、どのように AI やロボットを活用して、人間中心の社会を実現していくかが私たちに課せられた使命です。人生 100 年時代、いつまでも健康で幸せな生活をデザインできるのは理学療法士です。そのために AI と一緒に医療を変革させていきましょう。

## 略歴・資格・委員等

学歴) 平成16年 東京都立保健科学大学 卒業  
平成18年 東京都立保健科学大学院 博士前期課程修了 修士(理学療法学)  
平成21年 首都大学東京大学院 人間健康科学研究科 修了  
博士(理学療法学)

職歴) 上智厚生病院  
横浜療育医療センター  
訪問看護ステーション きょうわ  
豊島区発達相談支援センター とむとむ  
特別養護老人ホーム 博水の郷  
東京都立大泉特別支援学校・水元小合特別支援学校・石神井特別支援学校  
越谷の保育園巡回指導  
了徳寺大学 健康科学部 理学療法学科 助手→助教  
植草学園大学 保健医療学部 理学療法学科 講師→准教授  
城西国際大学 福祉総合学部 理学療法学科 准教授  
順天堂大学 保健医療学部 理学療法学科 前任准教授  
順天堂大学 保健医療学部 理学療法学科 教授

学会活動) 一般社団法人 日本支援工学理学療法学会 理事長  
一般社団法人 日本神経理学療法学会 理事(2024年6月まで)  
一般社団法人 日本理学療法学会連合 理事 総務担当理事  
日本ニューロリハビリテーション学会 評議員

その他の項目) 専門理学療法士(基礎・神経・支援工学・小児・地域・予防)

臨床活動の経験) 回復期リハビリテーション、訪問リハビリテーション、  
小児リハビリテーション、高齢者施設リハビリテーション  
など幅広く臨床活動も実施しています。

現在の研究内容) 動作分析や体幹筋疲労などの研究  
rTMS、tDCSの脳卒中患者に対する効果に関する研究  
歩行、装具に関する研究  
筋シナジー解析による運動の特性に関する研究  
子どもの健康に関する研究  
高齢者、小児疾患の座位姿勢の検討





## 協 賛

学校法人 山口コア学園 山口コ・メディカル学院

株式会社 岩多屋福祉事業部 山口支店

株式会社 日本メディックス 広島支店

伊藤超短波株式会社 福岡営業所

株式会社ホームケアサービス山口

株式会社 SPLYZA

コニカミノルタジャパン株式会社 ヘルスケアカンパニー

中四国支社 山口営業所

## 広 告

学校法人 YIC学院 専門学校 YICリハビリテーション大学校

株式会社 訪問看護ステーション こころの樹

合同会社アズユー リハビリデイサービスプラスワン

山口県義肢装具研究会

学校法人 山口コア学園 山口コ・メディカル学院

学校法人 巨樹の会 下関看護リハビリテーション学校

医療法人社団成蹊会 岡田病院

株式会社 リハピス

株式会社 総合リハビリテーション研究所

株式会社 岩多屋福祉事業部 山口支店

株式会社 ホームケアサービス山口

(敬称略・順不同)

# 専門学校 YIC リハビリテーション大学校

変わる時代

わたしの

誰かを想う心が輝くとき



PT 理学療法士 [4年制]

OT 作業療法士 [4年制]

文部科学大臣認定  
職業実践専門課程 認定学科  
設置校

WFOT認定校  
[WFOT:世界作業療法士課題]

高度専門士付与認定校

〒759-0208  
宇部市西宇部南四丁目11番1号  
TEL0836-45-1000  
FAX0836-45-1010

 0120-160-535  
<https://www.yic.ac.jp/rh/>  
E-mail info-rh@yic.ac.jp



f @yicreha  
X @yic\_rh  
i yicrh

関わる全ての人々の幸福を追求する

訪問看護ステーション

こころの樹 



ご利用者様と  
ご家族のみなさまに  
いつもの場所で

こころに寄り添うケアを

こころの樹では、ご自宅で看護・リハビリテーションが必要となった方に対して安心してその人らしく生活できるよう、専門的に行き届いたサービスを提供いたします。



**スタッフ募集中**

(看護師・理学療法士・作業療法士)

〒759-4101 山口県長門市東深川1408-4  
TEL : 0837-23-1717 FAX : 0837-23-1718  
Mail : tree-of-heart@siren.ocn.ne.jp





その人らしく生きる毎日に貢献します



プラスワングループ



**+one** リハビリデイサービス  
**プラスワン**

〒756-0835  
小野田店 山陽小野田市セメント町6-2太陽ビル1F  
TEL 0836-39-7887

〒755-0021  
宇部店 宇部市常藤町5-25アビリティ常藤1F  
TEL 0836-39-6010



**plan** 居宅介護支援事業所  
**プラスワンプラン**

〒755-0021  
宇部市常藤町5-25アビリティ常藤  
1F(プラスワン宇部店 併設)  
TEL 050-1741-4883



**select** 選択型リハビリデイサービス  
**プラスワンサック**

〒756-0088  
山陽小野田市東高泊784  
TEL 0836-52-8803



**one PEACE** 訪問看護リハビリステーション  
**プラスワンピース**

〒756-0088  
山陽小野田市東高泊784  
(プラスワンサック内)  
TEL 050-1742-2838



**consult** 相談支援事業所  
**プラスワンコンサル**

〒756-0835  
山陽小野田市セメント町6-2太陽ビル2F  
(プラスワンワークス 併設)  
TEL 050-1731-8171



**work** 就労継続支援B型事業所  
**プラスワンワークス**

〒756-0835  
山陽小野田市セメント町6-2  
太陽ビル2F  
TEL 0836-39-0510

as you  
あなたらしくありのままに

合同会社 アズユー

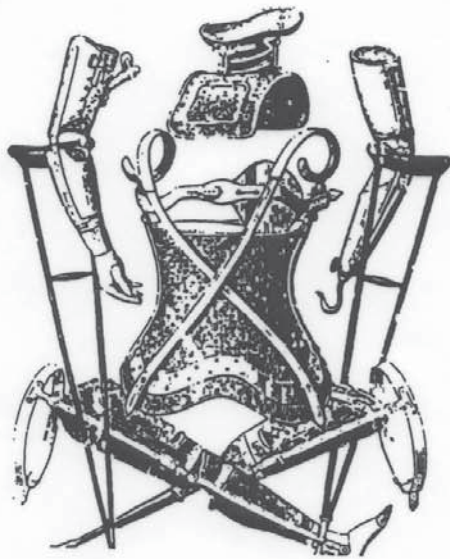
スタッフ  
募集中

プラスワングループ  
リクルートページ





明日のリハビリテーションスタッフの一員としてお手伝いさせていただきます!!



〔山口県義肢装具研究会所属正会員〕

(株)アパルト  
・コニシ  
代表取締役  
小西 徹  
〒755-0024  
宇部市野原1-15-12  
TEL 0836-33-2195  
FAX 0836-33-2325

(株)大坪義肢  
製作所  
代表取締役  
大坪 誠  
〒755-0037  
宇部市西梶返2-21-51  
TEL 0836-21-5397  
FAX 0836-21-1110

(有)勝部義肢  
製作所  
代表取締役  
勝部 實  
〒745-0802  
周南市大字栗屋277-18  
TEL 0834-25-2030  
FAX 0834-25-1218

山陽義肢  
製作所  
代表者  
有菌 紀雄  
〒740-0034  
岩国市南岩国町2-65-30  
TEL 0827-32-2691  
FAX 0827-32-7686

(有)濱本義肢  
製作所  
代表取締役  
濱本 洋紀  
〒755-0032  
宇部市寿町1-4-21  
TEL 0836-32-7433  
FAX 0836-32-7434

学校法人 山口コア学園

1,600名を超える卒業生が、県内外の病院・施設等で活躍中!

# 山口コ・メディカル学院 4年制

理学療法学科

作業療法学科

言語聴覚学科



TEL 083-933-0550

山口市富田原町2番24号

JR山口線「湯田温泉駅」より徒歩7分



専門職連携教育が  
チーム医療で  
活躍できる人材を  
育てる

ホームページ



学校法人 巨樹会  
N 下関看護リハビリテーション学校



## 医療法人社団 成蹊会



真心のこもった  
診療をあなたに

あなたの笑顔が  
私たちの誇りです。

### 岡田病院

〒759-4101 山口県長門市東深川 888  
TEL : 0837-23-0033  
FAX : 0837-23-0035  
URL : <http://seikeikai-okada.or.jp>

### 介護老人保健施設 サンライズ 21

〒759-4101 山口県長門市東深川 889-1  
TEL : 0837-23-0021  
FAX : 0837-23-0023  
URL : <http://www.rouken-sunrize21.com>



#### 株式会社 リハピスグループの理念は

「リハビリテーションで世の中を人々を幸せして笑顔に変えていく」  
そのためには、どこに住んでもいても、どんな人でも、リハビリテ-ションを受けられる世の中にしたいたい・・・。  
そんな想いで株式会社リハピスを立ち上げたのは平成 27 年 9 月のこと。あれから 9 年。私たちリハピスグループは描いた未来を少しずつカタチにしてきました。これから先の 10 年、20 年の未来を創っていくのは、今の社員、そしてこれから仲間になってくれる方々です。皆さんが思い描く未来を一緒に創っていきましょう。

#### 株式会社リハピス では、一緒に働く仲間を募集しています！

- デイサービス 歩行リハビリセンターテクラ 王司本店・新下関店 アクティブリハビリセンターカノア
- 居宅支援事業所 ぶらんセンターらしさ (ケアマネ資格をもつPT 募集)
- 訪問看護リハビリステーション ラボル
- 児童発達支援事業所 運動療育センターこころ
- 放課後等デイサービス 運動療育センターばるこ

#### ママセラピストも気軽に働けます！

- 産後の復帰で不安のあるママセラピストもリハピスは応援します！
- 企業主導型保育園 みらこ保育園完備しております。
- 訪問介護事業所 ネスレ ○有料老人ホーム スミカ

下関市テクラで検索 <https://tekura-rehapis.com/>  
連絡先 083-242-4649 担当 上田(ウエタ)山根(ヤマネ)

祝 第33回  
山口県理学療法学会

地域共生社会を目指す

(株) 総合リハビリテーション研究所

〒744-0005 下松市古川町4丁目5番7号  
TEL 0833-48-3500 (代) FAX 0833-48-3502  
<https://sogoreha.info>



福祉用具レンタル・販売  
(株)岩多屋 福祉事業部山口

介護保険事業所番号 **3570303374**

〒754-0001  
山口県山口市小郡上郷3541番地3

TEL (083) 972-2037

FAX (083)973-1745

営業時間 / AM8:10~PM5:10

**0120-0120-294230**

HCS  
株式会社 **ホームケアサービス山口**

福祉用具レンタル・販売・住宅改修  
(URL <https://www.homecare-yamaguchi.co.jp>)

営業店舗		
(本社)	〒752-0928	山口県下関市長府才川1丁目35-21
(下関店)	〒752-0928	山口県下関市長府才川1丁目35-21
(山口店)	〒754-0891	山口県山口市陶4542-1
(周南店)	〒744-0024	山口県下松市末武上久保田1800-1
(岩国店)	〒740-0017	山口県岩国市今津町4丁目12-7
(萩店)	〒758-0011	山口県萩市梅東2880-1
(宇部店)	〒759-0208	山口県宇部市西宇部南3丁目3-2
(北九州店)	〒800-0204	福岡県北九州市小倉南区中吉田6丁目26-5
(防府店)	〒747-0844	山口県防府市華園町11-11
(ホームケアサービスセンター)	〒738-0034	広島県廿日市市宮内4349番地1田宮ビル1F

介護施設		
のんびり村 今津 (特定施設)	〒740-0017	山口県岩国市今津町4丁目12-7
のんびり村 通津 (特定施設)	〒740-0044	山口県岩国市通津2252-1
のんびり村 米川 (小規模多機能・グループホーム)	〒744-0271	山口県下松市大字下谷字砂の本179
のんびり村 花岡 (特定施設・通所介護・居宅介護)	〒744-0024	山口県下松市末武上久保田1800-1
のんびり村 厚狭 (サービス付高齢者向け住宅・通所介護)	〒757-0005	山口県山陽小野田市大字鴨庄4-4



## 第33回 山口県理学療法士学術大会 準備委員

大会長	伊藤 勇	(長門総合病院)
準備委員長	奈古 智子	(岡田病院)
山口県理学療法士会理事	杉山 英樹	(都志見病院)
山口県理学療法士会理事	水野 博彰	(下関市立市民病院)
萩長門地区担当理事	富崎 強	(こころの樹)
学術大会部部長	三浦 正和	(山口県立総合医療センター)
運営部	古谷 峻士	(萩市民病院)
事務局	中村 智子	(岡田病院)
	玉一 優子	(都志見病院)
学会誌部兼学術部	入江 隆聡	(長門総合病院)
学会渉外部	伊東 輝彦	(大藤医院)
萩長門地区部長	濱田 賢吾	(岡田病院)

## 運営委員

尼崎 吉樹	奈古 翔太	金子 優人	富賀 優太	村田 真太郎	末弘 勇司
永松 大輔	三井 理江	宮崎 康平	村野 学	大谷 一章	村上 慶奨
河田 直美	杖田 美穂	笠井 涼介	安藤 司	久保 雄太	末武 逸広
阿字雄 悠太	川上 力	久島 義和	山中 雄介	山崎 真吾	豊田 健人
坂田 光騎	野田 侃孝	横山 蕎彦	西原 翔真	田坂 優騎	岡本 真ノ助
大嶋 晶子	山本 南				

## 第33回 山口県理学療法学術大会 プログラム・抄録集

発行日 令和6年11月24日

発行所 「大会事務局」岡田病院  
山口県長門市東深川888

発行責任者 伊藤 勇

編集責任者 入江 隆聡

印刷所 有限会社 マシヤマ印刷 (山口県萩市椿3732-7)









一般社団法人  
山口県理学療法士会